

誰もが輝ける まちをめざして

わたむきの里(第一・第二・第三・第四)作業所

すべての人人が生まれたまちで育ち・働き・暮らし続けられる地域づくりをめざしています。

一人ひとりの「働きたい」を応援したい



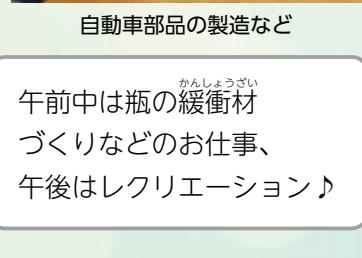
献立表の作成



お菓子などの製造



細かい部品2つを組み合わせています。



自動車部品の製造など



午前中は瓶の緩衝材づくりなどのお仕事、午後はレクリエーション♪



マラカスなどの楽器を使って音楽活動



資源を回収してごみの減量化や再資源化へ。ペットボトルはじゅうたんなどに生まれ変わります。

限りある資源を大切に

町では、「障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合い、人として尊厳が守られともに生きることができます」をめざしています。障がいの有無にとらわれず、支え合いながら社会とともに暮らしていくことが日常となるよう取り組むことが必要です。今月号の特集では、町内でさまざまな活動をされている「わたむきの里作業所」「さくら工房」の活動を紹介します。

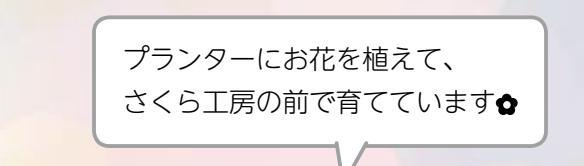


ファームわたむきと滋賀県MLGs広報大使の伊藤みきさんをはじめとした伊藤三姉妹と日野町が連携し、環境に配慮したおいしいお米「いとうさんし米」を製品化しました。

日野町のふるさと納税返礼品としてエントリーしており、県内の道の駅でも販売していますので、ぜひおいしいお米をお召しあがりください。

◆問い合わせ先
社会福祉法人わたむきの里福祉会
上野田805番地
☎ 0748-53-1061

自立支援活動を行い、社会経済活動に参加する能力を身につけ、本人らしく心豊かに、地域で生きいきと暮らしていくよう、取り組んでいます。



体力、健康維持のため、
真夏を除きウォーキングに
出かけています♪



◆問い合わせ先
NPO法人滋賀自閉症研究会たんぽぽ
安部居759番地3
☎0748-26-8200

私たち職員は、自閉症の方々の学習スタイルを日々学びながら、支援にいかす工夫をしています。

一見特別なことに思えますが、私たちの生活にもたくさん共通していることがあります。利用者の皆さんに教えていただいたり、ほっこりした気持ちにさせていただいたりしながらの毎日です。

詳しい内容につきましては、お気軽にお問い合わせください。

「ご理解ください～コロナ禍の困りごと～

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく様変わりした生活は、制限も多くストレスを感じている人も多いことでしょう。障がいのある人にとってはさらに深刻で、コロナ禍の生活様式への対応が難しいことが少なくありません。

また、障がいにはさまざまな種類があり、程度も人それぞれです。一見不思議に思える言動にも、理由があります。

マスクを着用することができない場合があります

知的障がいにより、マスクを着用する理由がわからぬ人がいます。また、感知過敏などの特性によりマスクの着用が困難な人がいます。

コミュニケーションが難しい場合があります

聴覚障がいなどがある人は、マスク着用者などの口の動きが見えずにコミュニケーションが難しくなります。ほかにも、相手の表情が見えないことに不安を感じる人がいます。

近づいたり触れたりする必要がある場合があります

視覚障がいなどにより、距離感がわからずに適切な間隔をとれない人や、買い物のときに商品に近づいたり触たりして確認する必要がある人がいます。

じる人がいます。

広報ひの 2022.12